

令和7年度

第60回 沖縄産科婦人科学会 学術集会

プログラム



日時： 令和7年9月28日（日）13：00～

会場： 沖縄県医師会館

〒901-1105 南風原町字新川 218-9

開催方法： 現地開催

沖縄産科婦人科学会

I 会長挨拶 (13:00~13:05)

II 一般演題

第I群 生殖・内分泌・女性のヘルスケア・内視鏡手術 (13:05~14:05)

座長：大石 杉子 (ウィメンズクリニック糸数)

1. 沖縄県における不妊治療と仕事の両立に関する実態調査

琉球大学病院 産婦人科

○長田 千夏、宜保 敬也、池村 晶子、仲田 柊子、仲村 理恵、平敷 千晶、銘苅 桂子、
関根 正幸

2. 当院のPGT-A・PGT-SRの報告

友愛医療センター 産婦人科

○山田 真司、照屋 彩音、高嶽 寿乃、西村 拓也、大城 大介、大久保 奈緒、野坂 舞子、
比嘉 健、大橋 容子、野原 理、前濱 俊之

3. 当院における卵管留水症に対する腹腔鏡下手術後の妊娠成績の検討

空の森クリニック

○木村 剛、神山 茂、井坂 亮司、芝池 亜貴子、高山 尚子、寺田 陽子、福井 淳史、
佐久本 哲郎、東 政弘、徳永 義光

4. 当院で治療したOHVIRA症候群の5例

空の森クリニック

○高山 尚子、神山 茂、木村 剛、井坂 亮司、芝池 亜貴子、寺田 陽子、福井 淳史、
佐久本 哲郎、東 政弘、徳永 義光

5. 当院での内視鏡手術における開腹移行例の検討

大浜第一病院 女性腹腔鏡センター

○小祝 千夏、高橋 美奈子、徳嶺 辰彦

6. vNOTESの導入から適応拡大 ～骨盤臓器脱から卵巣腫瘍・子宮摘出術へ～

大浜第一病院 女性腹腔鏡センター

○徳嶺 辰彦 小祝 千夏 高橋 美奈子

休憩 (14:05~14:15)

第II群 周産期I (14:15~14:55)

座長：知念 行子 (琉球大学病院)

7. 未診断の筋緊張性ジストロフィー合併妊婦への硫酸マグネシウム投与で、母体呼吸不全と胎児徐脈を認めた一例

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 産婦人科

○星野 香、加藤 あさひ、屋比久 彩、兼村 朱里、小崎 三鶴、屋良 奈七、土井 生子、中野 裕子、山下 薫、浦添 千晶、砂川 空広、長井 裕、佐久本 薫

8. 当院での無痛分娩導入のプロセス—安全な実施体制構築への取り組み—

沖縄赤十字病院 産婦人科

○高江洲 朋子、宮城 美紀、村田 ももこ、大城 美哉、吉秋 研、正本 仁、稲嶺 盛彦、上里 忠和

9. 当科における帝王切開の既往がない癒着胎盤に対する治療方針の検討

琉球大学病院 産婦人科

○宮城 遥、永島 由喜、須藤 茜、佐川 若菜、米須 育子、金城 淑乃、知念 行子、金城 忠嗣、銘苅 桂子、関根 正幸

10. 前置胎盤における自己血輸血に関する検討

沖縄県立中部病院 総合周産期母子医療センター 産科

○小松 泰生、大畑 尚子、藤井 彩乃、前川 泰輝、寛 咲陽子、林 伯宜、金城 国仁、橋口 幹夫

休 憩 (14:55~15:05)

第III群 婦人科 (15:05~15:55)

座長：下地 裕子 (琉球大学病院)

11. 膀胱炎症状を伴った肝周囲炎の一例

友愛医療センター 産婦人科

○高嶽 寿乃、照屋 彩音、西村 拓也、山田 真司、大久保 奈緒、大城 大介、前濱 俊之

12. 卵巣成熟嚢胞性奇形腫の自然破裂を腹腔鏡で診断し早期に治療した1例

中頭病院産婦人科

○大久保 鋭子、島袋 美奈子、赤嶺 日菜、依田 江梨佳、比村 美代子、城間 肇、諸見里 秀彦

13. 子宮体部原発扁平上皮癌の一例

ハートライフ病院 産婦人科¹⁾ 病理診断科²⁾

○宮崎 優樹¹⁾、渡名喜 望海¹⁾、比嘉 博香¹⁾、仲里 博恵¹⁾、當眞 真希子¹⁾、堀本 直幹¹⁾、
武田 理¹⁾、與那覇 由衣子²⁾、青山 肇²⁾

14. 当院で経験した子宮肉腫症例の報告

那覇市立病院 産婦人科

○木全 奈津子、宮城 真帆、上原 みゆき、山田 久子、金嶺 ちひろ、池宮城 梢、渡嘉敷 みどり

15. 妊娠期 CIN の分娩後転帰に関する後方視的検討

琉球大学病院 産婦人科

○屋島 佳奈、平良 祐介、吉田 晃大、玉城 夏季、下地 裕子、新垣 精久、仲本 朋子、
大山 拓真、久高 亘、関根 正幸

休 憩 (15 : 55~16 : 05)

第IV群 周産期Ⅱ (16 : 05~16 : 45)

座長：大橋容子 (友愛医療センター)

16. 当科における妊婦トキソプラズマ感染症の対応と診療上の課題

琉球大学病院 産婦人科

○須藤 茜、金城 淑乃、宮城 遥、佐川 若菜、米須 育子、永島 由喜、知念 行子、金城 忠嗣、
銘苅 桂子、関根 正幸

17. 胎児心臓腫瘍の一例

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

○砂川 空広、加藤 あさひ、屋比久 彩、兼村 朱里、小崎 三鶴、屋良 奈七、土井 生子、
星野 香、中野 裕子、山下 薫、浦添 千晶、佐久本 薫、長井 裕

18. 当院におけるてんかん合併妊娠の予後と新生児薬物離脱症候群についての検討.

沖縄赤十字病院 産婦人科¹⁾、小児科²⁾、脳神経外科³⁾、脳神経内科⁴⁾

○正本 仁¹⁾、高江洲 朋子¹⁾、宮城 美紀¹⁾、村田 ももこ¹⁾、大城 美哉¹⁾、吉秋 研¹⁾、
稲嶺 盛彦¹⁾、上里 忠和¹⁾、長崎 拓²⁾、廣中 浩平³⁾、梅谷 啓太⁴⁾

19. 沖縄県メディカルコントロール協議会と連携した病院前周産期救急講習会の取り組み

沖縄県立中部病院 総合周産期母子医療センター 産科¹⁾ 新生児内科²⁾ 救急科³⁾

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 新生児内科⁴⁾

○大畑 尚子¹⁾、小松 泰生¹⁾、前川 泰樹¹⁾、橋口 幹夫¹⁾ 真喜屋 智子²⁾ 中山 由紀子³⁾、
豊里 尚³⁾、下地 良和⁴⁾

休 憩 (16:45~17:00)

III 特別講演 (17:00~18:00)

司会：関根 正幸 (琉球大学大学院医学研究科 女性・生殖医学講座 教授)

「がん染色体不安定性の病理機構とその制御方法の研究」

がん研究会・がん研究所 所長

がん研究会・がん研究所 実験病理部 部長

広田 亨 先生

【演題発表時の利益相反状態開示について】

1. 開示しなくてはならぬお筆頭演者

臨床研究に関するすべての発表において、利益相反状態の有無にかかわらず開示して下さい。

2. 発表における開示方法

開示する利益相反状態は演題申込み1年前から発表時までのものとします。

利益相反状態の開示に関してはすべての日本産科婦人科学会「利益相反に関する指針および同運用細則」に拠ります。

【確認事項】

- 講演時間は6分、質疑応答は4分です。
スライド枚数に制限はありませんが、時間厳守でお願い致します。
- 日本専門医機構専門医 学術集会参加単位 2 単位、産婦人科領域講習単位 1 単位（特別講演）を付与します。
※機構専門医 産婦人科領域講習単位付与につきましては、特別講演開始前の休憩時間に、再度 QR コードのご提示をお願い致します。
- 日本産婦人科医会研修単位は日本専門医機構専門医 学術集会参加単位のデータを移行致します。